

JOINT PRESS RELEASE

2023年11月15日

エア・リキードとENEOSによる低炭素な水素の開発促進とエネルギートランジションの実現に向けた協業開始

エア・リキードとENEOS株式会社は、日本における低炭素な水素の開発促進とエネルギートランジションの実現に向け協業していくことで合意し、覚書(MOU)を締結しましたのでお知らせいたします。

ENEOSは、日本において最大手の石油精製・石油化学会社であり、エネルギーインフラと市場において大きな存在感を示しています。一方、産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーであるエア・リキードは、水素の製造、液化、輸送、貯蔵、使用から炭素回収・利用・貯蔵(CCUS)に至るまで、60年以上にわたり、水素に関するバリューチェーン全体の専門知識を持っています。この両社の強みを活かすことが本パートナーシップの重要な意義となります。

本パートナーシップは、**低炭素な水素**のバリューチェーン全体を対象としています。上流分野では、CCUSや電解技術を用いた**低炭素水素の製造**開発、および海外から日本市場に向けた液化水素サプライチェーンの構築を検討します。下流分野では、日本における水素ステーションを含めたインフラ網を拡大し、**水素モビリティ**市場の発展を目指します。さらに、両社は水素サプライチェーンにおける**研究開発**に関する協業も検討していきます。

エア・リキード社 水素エネルギー事業担当バイスプレジデント アルメル・ルヴュー のコメント：「日本のエネルギーにおけるリーディングカンパニーであるENEOSと提携することとなり光栄です。再生可能エネルギー由来の水素を含む、低炭素水素のバリューチェーン全般にわたる今回の連携は、それぞれの分野で主導的地位にある両社の強みを生かし、日本における産業とモビリティ市場の脱炭素化に重要な要素となる水素の発展、ひいてはエネルギー変換の加速に大きく寄与するものと認識しています。財務業績目標と財務を超えた取り組みを組み合わせた当社の戦略プラン「ADVANCE」に沿うものです。」

ENEOS株式会社 代表取締役 副社長執行役員 宮田 知秀のコメント：「ENEOSグループは2040年に向けた長期ビジョンにおいて、『エネルギー・素材の安定供給』と『カーボンニュートラル社会の実現』との両立に向けた挑戦を掲げています。産業ガスの世界最大手であるエア・リキードとの連携は、エネルギートランジションをリードし、日本におけるカーボンニュートラル社会にエネルギーを安定供給していく上で、重要な足がかりになると自負しています。現在当社はMCH※を主な水素キャリアと位置づけていますが、将来の脱炭素社会の形成に向けて、今回の提携を通じて液化水素によるサプライチェーン構築の可能性も追求していきます。」

*水素ガスの500分の1の容積で常温常圧の液体。貯蔵や輸送等、取り扱いが容易なことが特徴。

お問い合わせ

エア・リキード

日本エア・リキード合同会社 広報本部
ww-aljcommunications@airliquide.com
03-6414-6728

ENEOS

ENEOS株式会社 広報部 広報グループ
pr@eneos.com
03-6257-7150

エア・リキードについて

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界73カ国で約67,100人の従業員を擁し、390万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。酸素、窒素、水素などは、生命、物質、エネルギーに欠かせない必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の中心活動の核となってきました。

エア・リキードは、未来に備えつつ今日アクションをとることを戦略の中心に据えています。2025年までの戦略プラン「ADVANCE」により、財務的業績目標と財務を超えた取り組みを組み合わせた包括的なパフォーマンスを目指します。新しい市場をとらえ、柔軟さと強さを兼ね備えたビジネスモデル、技術知見に立脚したイノベーション力を生かしてまいります。エア・リキードは気候とエネルギー転換、とりわけ水素エネルギーに寄与するソリューションを開発し、医療、デジタル、ハイテク分野に注力してまいります。

2022年の売上高は299億ユーロを超えました。エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ（A部）に上場されており、CAC40ならびにCAC40 ESG、EURO STOXX 50、FTSE4Good、FTSE4Good Indexの構成銘柄です。

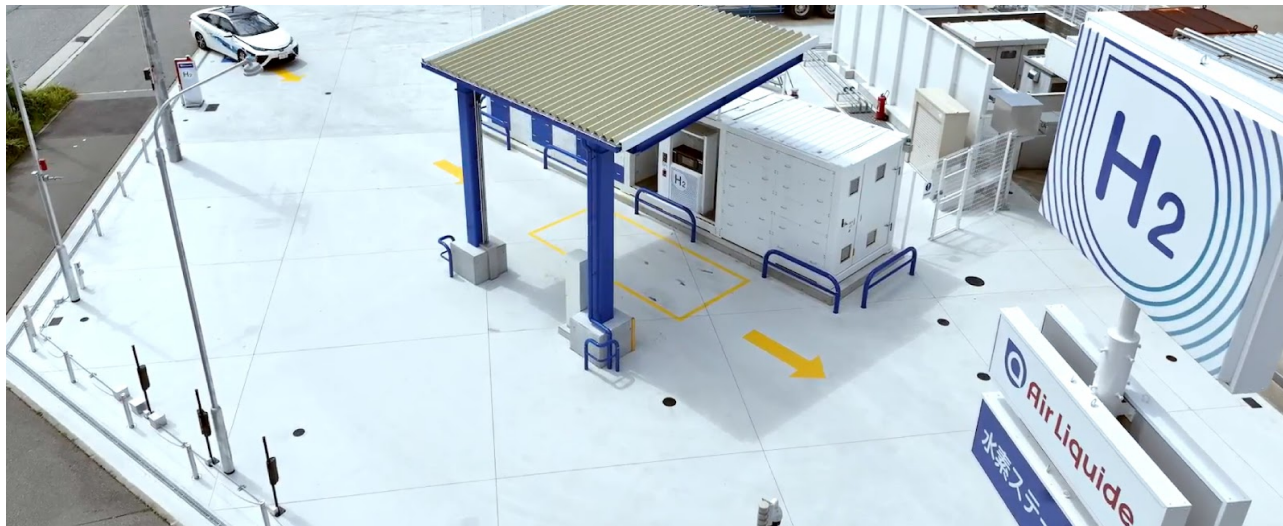
ENEOSについて

ENEOSグループは、世界中に製造・販売拠点を持つ日本の主要なエネルギー企業です。エネルギー・素材分野での事業展開を行っており、上流から下流まで幅広い事業を展開しています。現在から将来にわたりエネルギーや素材の安定供給の責任を果たしつつ、エネルギー転換を通じてカーボンニュートラル社会の実現を目指します。これは人類にとって大きな課題でもあり、ENEOSグループは、着実に挑戦しながら企業価値を最大化することで、この課題に取り組んでいきます。

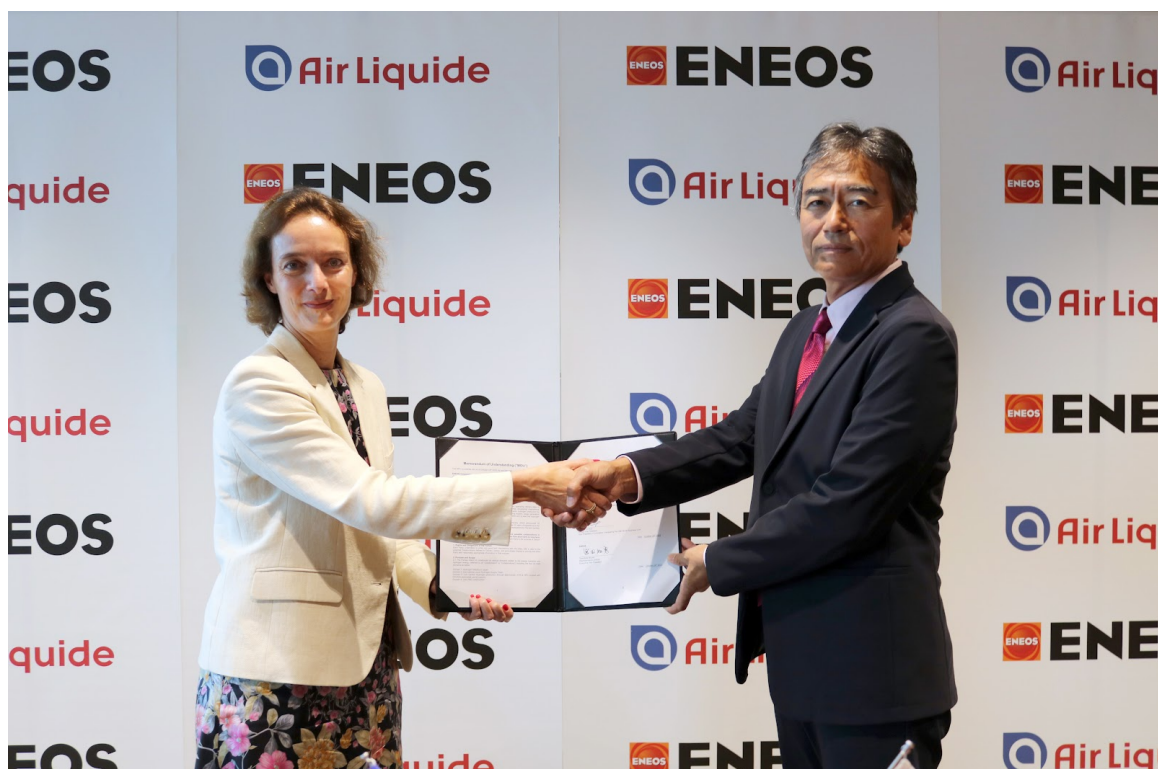
ENEOSグループは、ENEOSグループ理念の実現に向けた決意、『「今日のあたり前」を支え「明日のあたり前」をリードする』を新たに掲げています。第三次中期経営計画を、長期ビジョンへの移行の成否を決める重要な期間と位置付けており、ステークホルダーからさらなる信頼を得るために、明日のあたり前を創造するリーディングカンパニーとして、資本コストと資本効率を十分に意識した経営を実践しています。

<添付資料>

写真：



エア・リキード MK空港前水素ステーション



調印式の様子

左：エア・リキード社 イノベーション・水素エネルギー事業担当バイスプレジデント：アルメル・ルヴュー
右：ENEOS株式会社 代表取締役 副社長執行役員：宮田 知秀